

知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより

2021年7月

第71号



『仮名読八犬伝』為永春水(2代目)作、歌川国芳画ほか
〔菜の花ライブラリー〕千葉県デジタルアーカイブ

▼ 旭市図書館の開館とサービス開始

7月10日(土)から、東部図書館の一部を旭市図書館が使用し、市民サービスを開始しました。準備のため、臨時休館等でご不便をおかけしました。東部図書館では、これからも多くの方にご利用いただけるよう良質な図書館サービスを提供していきます。ご希望の資料やお探しの資料がありましたら、お気軽にカウンター職員までお尋ねください。なお、詳しくは、館内案内図をご覧ください。

▼ 新型コロナウイルス感染拡大の防止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館では「3つの密」(密閉、密集、密接)を避けるとともに、入館時の検温、マスクの着用、手洗い、咳エチケットなどの対策や滞在時間2時間を目安に利用するなど、引き続きお願いしております。皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

▼ 資料展示コーナーのご案内

テーマ: 「地域を知ろう

～樫海、利根川を中心に～

展示期間: 7月1日～8月31日

みなさんは、樫海(つばきのうみ)をご存じですか。(そういえば、遠い昔、社会科で学習したような……。)この機会に、地域のことに関心を持ち、コロナが収まったら、巡ってみるのも楽しいかもしれませんね。

▼ ガラス展示コーナーのご案内

テーマ: 「オリンピック・パラリンピック」

展示期間: 7月1日～9月16日

1964年10月10日から24日までの15日間、東京オリンピックが開催されました。そして、今年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。それを記念し、展示を行います。中央図書館千葉県資料室展示「千葉県とオリンピック」の資料もあります。ぜひ、ご覧ください。

※上記の内容は、新型コロナウイルス感染症対策等の影響で、中止・変更される可能性があります。ご理解ください。

ホームページ URL

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp>

↑PC・スマホ等の方はこちらへ

携帯電話サイト URL

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→



旭市図書館が県立東部図書館内に開館しました

7月10日（土）、旭市図書館が県立東部図書館内に新たに開館しました。これは、東部図書館を旭市に移譲するまでの間、東部図書館内に旭市図書館が図書や雑誌等を配架し、貸出しなどのサービスを行うものです。

東部図書館内の入口付近は旭市図書館、奥側は県立東部図書館になっています。図書の貸出しなどのサービスはそれぞれの窓口カウンターで行います。

なお、利用者の皆様が分かりやすいよう、窓口カウンターや案内表示を、県立東部図書館は黄色に、旭市図書館は緑色に色分けしています。

県立東部図書館

イメージカラーは黄色

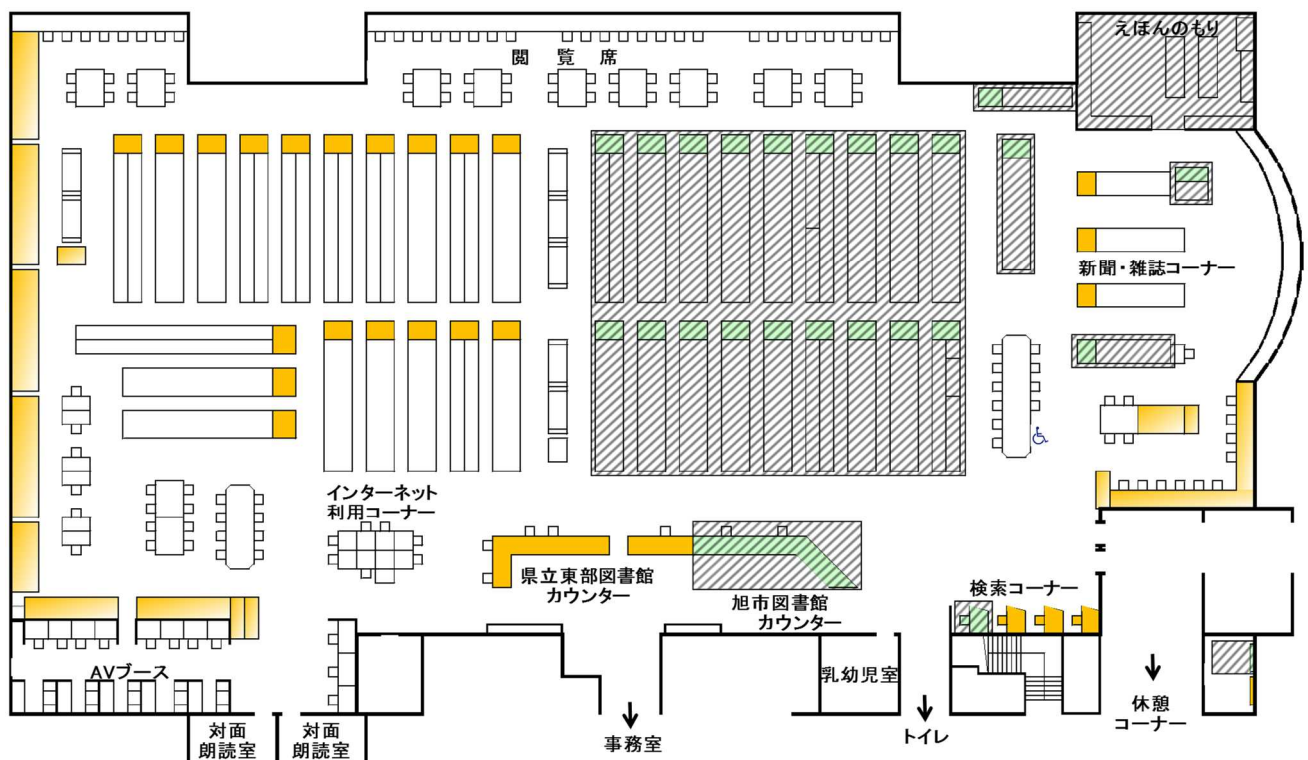
市町村立図書館では揃えにくい調査研究用資料を中心に収集しています。県立図書館3館では、多様な資料が提供できるように収集分野を分担しており、東部図書館では歴史や文学などを主に収集しています。雑誌は貸出ししていませんので、館内でご利用ください（複写は著作権法の範囲内で可能です）。

旭市図書館

イメージカラーは緑色

（斜線網掛け部分）

市民の教養を深め、身近な調べ物に役立つ一般書や児童書、絵本などを幅広く収集しています。雑誌も最新号を除き貸出可能です（複写は著作権法の範囲内で可能です）。



図書館ぶらり散歩(51)



東部図書館の近隣地域について

書かれた本を紹介します！

『銚子と文学者とのふれ合い 銚子の文学碑めぐり』

銚子市文化財審議会/編集
銚子市教育委員会 2005年
[C902/4/05]

美しい自然に囲まれた銚子へは数多くの文学者が訪れています。それは、夏目漱石や与謝野晶子、遠藤周作など、そうそうたる顔ぶれです。

この本には、訪れた文学者や訪れたときのこと、そのとき詠んだ詩などが載っています。この人も銚子にゆかりがあるのか！と読んでいてドキドキしてしまうことでしょう。

また、文学碑位置案内図も載っているので、文学碑や文学者の訪れた地をめぐり、思いを巡らせてみるのも良いかもしれません。

『望月定子画集 九十九里を描き続けて』

望月定子/画 望月定子美術館 2009年
[C723/15]

絵は“思い”を描くもの。描き手の魂が宿るものだ。生まれ育った美しい九十九里を、こよなく愛した望月定子（1919～2008）さんは63歳から油彩を描き始め、多くの作品を残した油彩画家です。

本書は、彼女が亡くなるまでにアトリエで描き続けた九十九里の風景を彼女が詠んだ句とともに掲載しています。魂が込められている力強い色彩に、圧倒されることでしょう。

絵を描き始めるのは何歳からでも遅くはない。そう思わせてくれる一冊です。

『読みがたり 千葉のむかし話』

「千葉のむかし話」編集委員会/編
日本標準 2005年
[J913 ㊦] ※中央図書館所蔵

みなさんは幼い頃、どんな昔話を讀んだり聞いたりしましたか。何度も見聞きした物語が、飽きることなく読み手の心を踊らせるのは何故なのでしょう。

この本は千葉県に伝わる民話や昔話が読みやすくまとめられたものです。近隣地域の昔話も収められていますので、ぜひ手に取ってみてください。

地域のことはの味わいをそのまま残した書きぶりは、血が通っていて奥深く、ゆったりと温かな気持ちになることと思います。

「むかし、むかし」名もない人たちにより長い時間をかけて語り継がれ、豊かな文化に育った昔話の世界に触れてみませんか。



『椿の海』 矢的竜 著

双葉社 2016年
[C936/㊦1]

かつて匝瑳市、旭市、東庄町にかかる地域に「椿海」という巨大な湖がありました。本書はその椿海の干拓をした江戸時代の人々を描いた小説です。

干拓事業を軸に、新田開発を夢見た米問屋の治右衛門、富と名声を望んだ棟梁の刑部、使用人の佐助、藤兵衛、椿の海周辺の農民達の人生が描かれます。

なかなか下りない幕府の干拓許可、大火や農民の反対による工事の遅れなど幾多の困難が干拓事業に立ちあがります。そして、やっと迎えた竣工式は予想外の事態を引き起こし…。

江戸時代の一大プロジェクトはいかにして遂行され、「干潟八万石」の水田が生まれたのか。人間ドラマと郷土史を併せて楽しめます。

※ [] 内は資料の請求記号です



旭市役所新庁舎内1階にある「歴史を学ぶ場」は、広く旭市のことを知ってもらうための歴史を紹介した広場です。誰でも自由に見学することができます。（展示は変更されることがあります。）

旭市の歴史を
いろいろな視点で見よう



ドガミシモ

「歴史を学ぶ場」ではいろいろな視点から旭市の歴史を紹介しています。

視点1 日常生活品から見てみよう！

明治から昭和の時代に旭市で使われていた日用品が展示されています。酒・醤油・酢などの貯蔵や運搬に使われた「通い徳利」や、明治から戦前まで旧飯岡町で作成されていた素朴な土人形「ドガミシモ」など、当時の様子がしのべられます。

視点2 文字による記録から見てみよう！

旭町役場の「旭町歳入出予算決算編冊」には明治30年に鉄道が開通し旭駅ができた頃や、大正時代に落花生王国といわれ農業生産・出資のピークを迎えた頃の歳出決算が記載されています。決算書の分厚さにびっくりします。世界初の農業組合をつくった農村指導者、大原幽学の講義録も見ることができます。

視点3 文化財から見てみよう！

玉崎神社や木造阿弥陀如来立像、市内三大神楽に太田のエンヤホーなど、旭市には、数多くの文化財や伝統芸能があります。これらが分かりやすくパネルで紹介されています。



ドガミシモ

広がるつながる旭市の歴史、図書館で調べてみよう

県立図書館では旭市の歴史に関する資料を所蔵しています。〔 〕は所蔵館と請求記号です。

- * 『旭市史 1～3巻』（旭市史編さん委員会／編）〔東部 C235/K01- 1/1～3〕
- * 『飯岡町史』（飯岡町史編さん委員会／編）〔東部 C235/K03- 2/〕
- * 『玉の浦の神社 飯岡郷土読本 第2輯』（神原 靖夫／編著）〔東部 C175/8/〕
- * 『ふさの国の文化財総覧 第2巻』（千葉県教育庁教育振興部文化財課／編）〔東部 C709/14/2〕
- * 菜の花ライブラリー『大原幽学関係資料』（インターネット 千葉県立図書館ホームページよりアクセス）

- 県立図書館の資料は、市町立村図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

東部図書館内に旭市図書館が移転しました。当館は、引き続き調査相談業務等の県民サービスや市町村立図書館の支援業務を行います。

今後も県立図書館の特色を感じていただけるよう努めて参ります。

編集・発行：千葉県立東部図書館
〒289-2521

千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>